

事業番号	07 04 19	事業改善シート(28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	しあわせ信州日本酒研究プロジェクト実現化事業費				担当課	部局	産業労働部		
						課・局・室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室		
総合5か年計画	プロジェクト					E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開				実施期間	H28	～	H30	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出							
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ(ア) 地域資源の活用							

1 事業の概要

目指す姿	平成27年度から開催している「しあわせ信州日本酒研究会」の提案により、県内酒蔵に対して実践を促すと共に信州日本酒の魅力発信を行い、日本酒の新たな需要を創出する。											
現状(予算編成時)	長野県内の酒蔵は82あるが、日本酒の消費量は昭和50年頃をピークに現在では1/3程度となっている。「信州の地酒普及促進・乾杯条例」(H27年12月施行)の中で、「県は、条例の基本理念にのっとり、地酒の普及の促進に資する施策を講ずるよう努めなければならない。」としている。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】									
	県民との協働による実施: 実施中		信州の地酒普及促進・乾杯条例」(H27年12月施行)により、県の取組として、地酒の普及の促進に資する施策を講ずることとされている。									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	提案採用酒蔵数:5 イベント開催回数:1 研究会開催数:5											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						(当初)	(決算)	(当初)				
しあわせ信州日本酒研究会の開催		直接	酒蔵等の関係者に加えてデザイン専門学校学生等のメンバーによる若者や女性に受け入れられやすい日本酒ラベルデザインや酒質等への提言		490	189	490					
酒蔵による日本酒の開発支援		補助	研究会の提案を活用した県内酒蔵の若者や女性向けの日本酒開発やPR活動に対して助成		2,500	2,179	2,500					
開発日本酒のお披露目		直接	県内酒蔵が開発した新商品のイベント等での消費者やバイヤー等への発表		808	25	532					
			合計		3,798	2,393	3,522					
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
		当初予算		3,798	3,522				目標	成果		達成状況
		補正予算				研究会開催数			5	5	達成	-
		合計(A)	0	3,798	3,522				開発支援数			5
	Aの財源	一般財源		3,798	3,522	お披露目回数						1
		県債							決算額(B)			
		国庫支出金				概算人員費						
		その他	0	0	0				職員数(人)			
	概算人員費					概算人員費(C)		0	791	791		
概算事業費(B(A)+C)		0	3,184	4,313								
目標に対する成果の状況	若者や女性の日本酒の消費拡大に向けて、ラベルデザインの提案やPR方法など有効な提案がまとめられた。また、商品開発への助成やお披露目など、酒蔵の提案実現が支援できた。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施		
	酒蔵の新品開発への意欲を喚起し、県内日本酒産業の再生を図り、地域経済の活性化につなげていきたい。		